

建築材料の小売店

名古屋木材、10月に収益源に育成

名古屋木材は小売事業に進出する。大工や工務店の個人店主向けに建築材料を販売する店舗を10月をメドに開業する。新設住宅着工戸数の回復が鈍く、主力事業である住宅メーカー向けの木材卸事業は低迷が続いている。小売事業を強化し、将来的に木材卸や不動産に続く収益源に育てる考えだ。

名古屋市中川区の倉庫として利用していた土地に、延べ床面積100平方メートルの小売店舗を開く。住宅建設現場で使う木材

や金具、工具など約3000品目を取り扱い、初年度数千円の上高を目標とする。

店舗は午前7時から午後6時ごろまで営業し、建設現場で緊急に必要な材料を素早く調達できるようにする。木材の販売価格は市場価格と

ほぼ同じ水準に設定し、良好な製品を手軽に買える利点を訴える。

小売事業は社内で公募した新事業プランを基に立ち上げる。1号店の売れ行きを見極めつつ、早ければ2011年にも2〜3号店を出したいとしている。